

3.11 を忘れない

本当の復興はこれから・・・

陸前高田市立図書館ゆめプロジェクト



震災直後の陸前高田市立図書館



読めなくなった書籍

岩手県陸前高田市立図書館は2011年3月11日の東日本大震災で壊滅的な被害を受け、蔵書約80,000冊も失われてしまいました。2012年からはログハウスの仮設館で業務を行っていましたが、再建され、2017年7月20日に新図書館が開館しました。

震災の傷跡は人々の心の中に、また、まちの中に、今

もなお深く残り、陸前高田のまち全体が豊かな日常を取り戻す日はまだまだ遠い現状の中、新図書館の開館はまち全体の復興への一歩となっています。「一人ひとりの豊かな日常を取り戻すための大切な場の一つになる」そんな図書館を育てていきたいという願いのなか、立ち上げられたのが、「陸前高田市立図書館ゆめプロジェクト」です。寄付により集められた読み終えた書籍の買取金額相当によって、再建された図書館の充実をめざし、継続的に応援するプロジェクトです。



私たちにもできる、復興支援の一つです。一度ホームページをのぞいてみてください。

<http://books-rikuzen.jp/index.html>

*写真はゆめプロジェクトのHPより掲載しています。

MEMOっとこボード

人権・平和「沖縄再発見ツアー」

2018年5月19・20(土・日)

1日目〈思いっきり平和・人権学習〉
 沖教組 山本隆司前委員長のお話を聞きながらの、ガマ・基地の見学。
 現地でしか味わえない体験を通して平和・人権学習をします。

2日目〈自由行動〉
 南部戦跡を巡る、または首里城の見学など夕刻まで自由行動。

*申込用紙のついたチラシ(詳細を記載)を次回発送します。

組合ならは企画!

JTU きょうと教組
 日本教職員組合
NEWS LETTER

2018年3月15日発行 No.88
 京都府教職員組合 小鍛冶 啓
 Kyoto School Staff Union
 Tel:075-252-6771
 Fax:075-252-6772
<http://kyoto-union.net>



臨時的任用教職員



永年の要求が実現!

「空白の1日」解消へ!!!

京都府・市教育委員会は、ともに、臨時的任用教職員(臨採常勤講師、臨採事務職員、臨採現業職員など)を再び任用する際、年度末の1日だけ離職させていた形式を、2018年度より解消すると、発表しました。

臨時的任用教職員(臨採常勤講師、臨採事務職員、臨採現業職員など)は、事実上の勤務(年度末業務、離任式など)があるにもかかわらず、これまで「地公法」を口実に3月末に「空白の1日」がおかれてきました。そのため継続任用されても、一旦「離職」とみなされ、給与面などに不利益が生じていました。きょうと教組は、この「空白の1日」を解消せよと永年、当局に要求してきました。2017年確定交渉では、前向きな回答を引き出せたものの、今年度は実現に至りませんでした。2018年度より「空白の1日」をおかずに、連続して雇用されることとなります。



今回の措置で、

- ・任用期間が含まれる2019年3月31日の給与として平均約14,000円(*)が支給
- ・2019年6月ボーナスは満額支給で平均約93,000円(*)UP
- ・1年ごとに出ていた退職手当は、期間が通算されるため増額

*2016年度を基準に試算

することとなります。大半の自治体教委が年度末の1日以上を任用期間からはずしているなか、全国的にみても画期的な成果です。

とはいえ、身分保障、待遇など、まだまだ課題は残っています。今回のこのたたかひの成果を生かし、きょうと教組は、非正規教職員の待遇改善を引き続き求めていきます。

*詳しくは、きょうと教組ホームページ〈非正規のページ〉で見ることができます。